



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社トランザクション 上場取引所 東
 コード番号 7818 URL https://www.trans-action.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也 TEL 03-6861-5577
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績 (2020年9月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	4,841	7.7	887	33.3	912	36.9	624	41.5
2020年8月期第1四半期	4,495	6.6	665	10.5	666	9.3	440	3.0

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 591百万円 (13.4%) 2020年8月期第1四半期 520百万円 (10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	21.37	—
2020年8月期第1四半期	15.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	13,095	9,870	75.4
2020年8月期	13,267	9,804	73.9

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 9,870百万円 2020年8月期 9,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,394	△0.4	1,014	△10.6	1,020	△10.4	682	△8.6	23.37
通期	17,578	△4.8	2,531	△9.7	2,541	△11.0	1,690	2.3	57.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	29,375,400株	2020年8月期	29,375,400株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	170,840株	2020年8月期	170,840株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	29,204,560株	2020年8月期1Q	28,979,462株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言解除後、経済活動の再開に伴い個人消費等に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大が続くなか、国内においても再び感染者数が増加傾向にあるなど、先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化する状況下での社会環境や消費者動向の変化をタイムリーに捉えながら、EC事業の強化・拡大を軸として、成長戦略の重点テーマである「エコプロダクツ」「ライフスタイルプロダクツ」「ウェルネスプロダクツ」の3つのプロダクツにおいて各種取り組みを強化いたしました。

「エコプロダクツ」では、オリジナル製品の主力カテゴリーであるエコバッグの売上が引き続き好調に推移いたしました。特に、エシカルブランド「MOTTERU」では、レジ袋有料化を機に多くのメディアで取り上げられたことに加え、「クルリトクーラーマルシェバッグ」と「クルリトビッグマルシェバッグ」が2020年度グッドデザイン賞を受賞したことなどにより、エシカルブランドとしての認知度向上に繋がりました。その結果、リテール向けの売上は好調を維持し前年同期を大きく上回りました。また、再生素材の生地を使用したエコバッグ「クルリトデイリーバッグ(再生コットン)」等の新製品、さらに、エコバッグ以外の新たなカテゴリーとして、サーモボトルやクリアボトル等のボトルを発売するなど、“使い捨てを使わない”“繰り返し使える”のブランド理念のもと、環境に貢献する製品の拡充に努めました。

「ライフスタイルプロダクツ」では、コロナ禍でも好調を維持する業種・業界に注力し営業活動を強化いたしました。エンタテインメント業界では、段階的に各種イベントの再開に向けた動きが見られ、イベントでの直接販売に加え得意先のECサイトによる販売の提案を推進するとともに、ゲームやアニメ等のECと親和性があり、好調を維持する業界に注力し営業活動を強化いたしました。ペットウェア・関連製品においては、ヨーロッパのトラディショナルファッションをベースに、上質で普遍的なファッションを再現した、オリジナルブランド「One Octave」を立ち上げました。

「ウェルネスプロダクツ」では、ウイルス感染対策製品において、感染症拡大傾向の継続による需要に対応した結果、前年同期を大きく上回りました。また、オリジナル衛生用品ブランド「Leaffresh」より、携帯に便利な「除菌アルコールスプレー10ml」や「しっかり除菌アルコールウェットタオル」、機能性、デザイン性に加えフィルターを内蔵した繰り返し使用可能な布製マスク「ぴったりフィットマスク」等のウイルス感染対策製品を相次ぎ投入し市場の変化に対応しました。

すべてに共通するEC事業では、主力サイトである「MARKLESS STYLE」のリニューアルにより、製品在庫のリアルタイム更新や商品検索機能の向上、注文・決済方法の拡充などによりユーザビリティを大幅に向上させた結果、会員数が大幅に増加し、既存顧客の利用率も拡大いたしました。また、10月には「MOTTERU」のECサイトをリニューアルし、「販促STYLE」を始めとした自社サイトのリニューアルを進めるなど、新型コロナウイルス感染拡大による急激な環境変化のなかで加速するEC化に対応し、自社サイトによる売上拡大に向けた取り組みにより、売上高及び売上構成比が前年同期を大きく上回る結果となりました。

生産面では、コロナ禍において、日本からの移動制限があるなか、中国国内において再び移動が制限される状況に陥った場合でも、中国圏からの製品供給を支障なく継続する体制を強化するため、上海多来多貿易有限公司(連結子会社)において、上海、深センに続き青島に新たな拠点を開設いたしました。また、中国及びその他のアジア諸国における生産拠点の最適化を推進するとともに、各国のロックダウンに備えて複数の生産拠点を確保することで、継続した安定供給の実現と価格競争力の強化に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、48億41百万円(前年同期比3億45百万円、7.7%の増加)、営業利益は、売上高の伸長による売上総利益の確保及び利益率の改善、販売費及び一般管理費の計画的支出により8億87百万円(前年同期比2億21百万円、33.3%の増加)となり、経常利益は9億12百万円(前年同期比2億45百万円、36.9%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億24百万円(前年同期比1億83百万円、41.5%の増加)となりました。

当第1四半期連結累計期間における販売経路別及び製品分類別の販売実績は、以下のとおりであります。

<販売経路別販売実績>

販売経路	売上高		増減	
	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エンドユーザー企業向け事業	2,248	1,945	△ 303	△ 13.5
卸売事業者向け事業	1,838	2,382	543	29.6
E C 事業及び小売り事業	408	514	105	25.8
合計	4,495	4,841	345	7.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

<製品分類別販売実績>

製品分類	売上高		増減	
	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
一般雑貨製品	2,273	1,693	△ 580	△ 25.5
エコ雑貨製品	1,857	2,313	455	24.5
ヘルスケア&ビューティ雑貨製品	291	771	479	164.3
デザインその他	73	63	△ 9	△ 12.8
合計	4,495	4,841	345	7.7

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 デザインその他は、グラフィック・プロダクト・WEBデザインの受託業務や印刷業務等の雑貨製品に該当しないものであります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、100億34百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少6億77百万円、受取手形及び売掛金の増加2億71百万円、製品の増加1億28百万円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、30億60百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産の減少31百万円、有形固定資産の減少13百万円、無形固定資産の増加5百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円減少し、23億89百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少4億1百万円、買掛金の増加2億22百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、8億36百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少95百万円、退職給付に係る負債の増加3百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、98億70百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加98百万円、繰延ヘッジ損益の減少19百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では、2020年10月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、第2四半期連結累計期間の業績予想は、第1四半期累計期間の経営成績が当初の計画に対し強含んで推移したことから、当該経営成績及び今後の動向を踏まえて精査を行い、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。しかしながら、通期業績予想につきましては、今後の新型コロナウイルス感染拡大による影響を想定することが可能となるまで据え置きとさせていただきます。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,855,255	3,177,386
受取手形及び売掛金	2,315,464	2,586,891
有価証券	510,020	502,187
製品	3,021,010	3,149,978
その他	473,025	626,761
貸倒引当金	△8,191	△8,277
流動資産合計	10,166,583	10,034,928
固定資産		
有形固定資産	1,138,587	1,125,320
無形固定資産		
その他	147,449	152,510
無形固定資産合計	147,449	152,510
投資その他の資産		
投資有価証券	595,043	586,646
その他	1,226,204	1,202,661
貸倒引当金	△6,833	△6,826
投資その他の資産合計	1,814,414	1,782,481
固定資産合計	3,100,451	3,060,312
資産合計	13,267,035	13,095,240

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	692,314	914,423
1年内返済予定の長期借入金	337,488	314,368
未払法人税等	653,435	251,696
賞与引当金	219,270	309,110
株主優待引当金	62,162	—
ポイント引当金	9,246	9,309
その他	559,488	590,216
流動負債合計	2,533,405	2,389,124
固定負債		
長期借入金	555,070	459,228
退職給付に係る負債	331,291	334,828
資産除去債務	37,488	36,924
その他	5,100	5,100
固定負債合計	928,949	836,080
負債合計	3,462,355	3,225,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,222	93,222
資本剰余金	3,294,777	3,294,777
利益剰余金	6,486,382	6,584,846
自己株式	△130,372	△130,372
株主資本合計	9,744,010	9,842,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,285	△16,857
繰延ヘッジ損益	31,862	12,105
為替換算調整勘定	19,982	17,520
退職給付に係る調整累計額	15,110	14,792
その他の包括利益累計額合計	60,669	27,561
純資産合計	9,804,679	9,870,035
負債純資産合計	13,267,035	13,095,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	4,495,636	4,841,563
売上原価	2,760,732	2,957,729
売上総利益	1,734,903	1,883,833
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	346,475	343,784
賞与引当金繰入額	75,791	75,950
退職給付費用	13,330	12,377
貸倒引当金繰入額	△50	78
ポイント引当金繰入額	△1,394	63
その他	635,235	564,542
販売費及び一般管理費合計	1,069,388	996,796
営業利益	665,515	887,036
営業外収益		
受取利息	529	126
有価証券利息	6,097	4,446
助成金収入	—	23,151
その他	246	1,040
営業外収益合計	6,874	28,764
営業外費用		
支払利息	686	728
為替差損	4,948	2,618
その他	3	2
営業外費用合計	5,638	3,350
経常利益	666,750	912,450
特別利益		
受取保険金	152	—
特別利益合計	152	—
特別損失		
固定資産除却損	2,828	256
特別損失合計	2,828	256
税金等調整前四半期純利益	664,075	912,194
法人税、住民税及び事業税	184,157	245,911
法人税等調整額	38,945	42,137
法人税等合計	223,103	288,048
四半期純利益	440,972	624,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	440,972	624,145

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	440,972	624,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,947	△10,571
繰延ヘッジ損益	46,188	△19,757
為替換算調整勘定	17,055	△2,462
退職給付に係る調整額	823	△317
その他の包括利益合計	80,013	△33,107
四半期包括利益	520,986	591,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520,986	591,037
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。